



## 2019 年全日本スーパーフォーミュラ選手権 (SUPER FORMULA 2019) 第 5 戦: ツインリンクもてぎ (栃木県芳賀郡茂木町) レース報告書

予選: 8 月 17 日 (土)

天候	晴れ	
成績	アレックス・パロウ 選手 (#64):	1 位
	牧野 任祐 選手 (#65):	14 位

決勝: 8 月 18 日 (日)

天候	晴れ	
成績	アレックス・パロウ 選手 (#64):	4 位
	牧野 任祐 選手 (#65):	リタイア

### < 予選概要 >

- 気温34°Cの猛暑の中の公式予選
- 牧野任祐選手(65号車)は、Q1のアタックラップの終盤でタイムが伸びず、14番手でノックアウト
- アレックス・パロウ選手(64号車)は、Q1、Q2を3番手で通過し、Q3に進出
- パロウ選手は、Q3で1分31秒955のコースレコードをマークし、シーズン第4戦(富士スピードウェイ)に引き続き、2戦連続でポールポジションを獲得

### < コメント >

中嶋 悟 総監督:

「パロウはノっています。牧野は Q1 のアタックでセクター3 まではいいいタイムを出していたのですが、最後にミスがあり、残念な結果になってしまいました。速さは申し分ないので、明日の決勝レースで挽回してくれるだろうと思います。2 台揃っていいところにいけるように、万全を期したいと思います。」

アレックス・パロウ 選手:

*"We came here with really high motivation from Fuji. We worked really hard to prepare for Motegi. We maximized and improved a lot for this race, so I am really happy. I know we have a really good car also on the race condition, so with good strategy and good first lap, we will try to win."*

「富士大会(第4戦)に引き続き、とても高いモチベーションを持ってここに来ました。今回のレースに備えるため、本当に一生懸命にやってきました。このレースのために、それを最大限に生かし、改良を行ってきた結果ですので本当に嬉しいです。レースでもよい戦略で1周目を上手く走って勝ちたいです」

牧野 任祐 選手:

「朝のフリー走行後に車の調整を行い、予選はミディアムの新品タイヤで走り始めました。初めの感触はよかったですのですが、その後、車に不具合が出てしまい、ベストタイムを出すチャンスを逸してしまいました。車のポテンシャルは高いので、原因を探し出して、明日のレースではベストを尽くします」

## <決勝概要>

- スタート時にエンジンストール車両が数台発生し、スタートディレイとなり、1周減算の51周回となった決勝レース
- 14番グリッドからスタートした牧野選手は、7周目の最終コーナーでマシンのコントロールが乱れ、コースオフ。リタイアでレースを終える
- ポールポジションからスタートしたパロウ選手は、23周目までトップを守ったものの、激戦の末、後続ドライバーのオーバーテイクを喫し、4位でフィニッシュ

## <コメント>

中嶋 悟 総監督:

「本番でのパフォーマンスが足りなかったと感じていますが、パロウは頑張ってポイントを獲得できました。今シーズンも残り2戦、この勢いを潰さず、頑張っていきます。暑い中、ご声援をありがとうございました。次戦もよろしくお祈りします」

アレックス・パロウ 選手:

*"It was a hard race. We made a great start and had a good first couple of laps, but others had a better pace and were quicker. I tried to push a little more, but I could not maintain the pace and got overtaken. I am still happy to be able to finish as the first Honda, and we are closer to P1 in the championship."*

「今回は厳しいレースでした。素晴らしいスタートを切り、初めの数周はよかったものの、他の選手の方がペースもよくて速かったです。プッシュしようとしたのですが、ペースを維持できず、追い越されてしまいました。しかし、ホンダエンジン勢では1番手でフィニッシュできたこと、チャンピオンシップでも優勝に近づいたことは嬉しいです」

牧野 任祐 選手:

「残念ながら最終コーナーでスピンし、再スタートできないままレースを終えてしまいました。今週末を通じて少し流れが悪かったように思いますが、車のポテンシャルは高く、速さもあるので、腐らずに、原因を見つけ出して次に向けて、しっかりやっていきます」



※次戦(第6戦)は9月28日~29日に岡山国際サーキット(岡山県美作市)で行われます。